



かやきのワクワク大作戦!



令和8年 6月25日
長崎市立蚊焼小学校
校長 大石 信弥

昨日24日(水)は大雨のため臨時休校となりましたが、学校には大きな被害等の報告が入っておらずほっとしております。明日26日(金)は27日(土)の代休日となりお休みです。27日(土)は、土曜参観です。「道徳授業参観」「学級懇談会」「引き渡し訓練」を行いますので、ご多用とは存じますが、ご参観いただければ幸いです。お待ちしております。



教育週間その1 命に関する講話

22日(月)全校集会において「命に関する講話」を行いました。内容は次の通りです。

今から23年前、この長崎市で、当時中学校1年生の生徒が4歳の幼児を誘拐し命を奪った事件、22年前に、佐世保市で小学校6年生の児童が同級生の命を奪った事件という二つの信じられないような事件がありました。校長先生も、大変ショックを受けました。

このような悲しい事件を体験した長崎県は、このような事件を二度と繰り返してはならないということを決意し、この教育週間を始めたのです。今日は「命」について皆さんと考えたいと思います。

「♪シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ 屋根まで飛んでこわれて消えた♪」皆さんは知っていますか？この歌は、童謡の作詞者で野口雨情という人が作った歌です。名前は知らなくても、「からす なぜなくの 七つの子」や「赤い靴はいてた女の子 赤い靴」など、今でも歌い継がれているたくさんの童謡を作った人です。特に有名な曲の一つにこの「シャボン玉」があります。

この歌は実は「命の歌」とも言われています。なぜかという、野口雨情さんは、27歳の時に、かわいい女の赤ちゃんを授かりました。どんなに嬉しかったことでしょう。でも、その赤ちゃんは、生まれて8日目に亡くなってしまいました。その時の悲しみを詩にしたのが、この「シャボン玉」の歌なのです。

「♪シャボン玉消えた 飛ばずに消えた 生まれてすぐにこわれて消えた♪」せっかく生まれてきた命、ずっとずっといつまでもいてほしかったというお父さんの悲しさが込められた歌です。

皆さんは、命をもっていますよね。皆さんの命はどこにありますか。心臓も脳も大切なものだけど、心臓や脳は命そのものじゃありません。命は、目に見えないもの、手で触れることもできないもの。目には見えないけれど、大切な命。この命は、皆さんのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そのまたおじいちゃん、おばあちゃんからいただいたものです。ですから、皆さんの命はこの世に一つのもっとも大事な、大事なもののなのです。

また、お友だちの命も大事な大事なものです。たいたり蹴ったりすることはもちろんのこと、言葉でも傷つけるようなことをしては絶対にいけません。神様から授かったわたしの大切な命、お友達の大切な命。大人になったとき、それをどう役立てるのか、そのために今、いろいろな勉強をしているのです。自分や友達を大切に、蚊焼小学校を来ることが楽しくてたまらないワクワクする学校にしていきたいと思います。

今日から「かやきっ子の心を見つめる」教育週間として、多くの人に皆さんの学校生活の様子を見ていただきます。一生懸命勉強している様子、友だちと仲良くしている様子、そして精一杯生きている様子を見ていただきます。

